

# 平成27年度 糸魚川市生徒指導部活動報告

部長 下早川小学校 長谷川明寿

## 1 研究主題

平成26年12月策定の「糸魚川市いじめ防止基本方針」を軸に、市内各校ごとに「いじめ防止基本計画」が策定され、年間計画が整備されている。すべての教育活動の中で、いじめ防止のため取組を具体化し実施することで、いじめを未然に防止し、いじめに即時対応できるように取組を進めてきた。

## 2 研究の概要

見えにくくなっているいじめを防止する観点で、児童生徒を取り巻くネット環境を注視する。ネット環境が今後のいじめの温床になる可能性が大きいことを踏まえ、現在、児童生徒が置かれている情報社会の中での危険性について把握する必要がある。そこで、糸魚川市生徒指導部として、研究・研修の内容としてこのことを取り上げた。具体的には、児童生徒のネット環境の現状と課題を把握する部員研修と児童生徒への情報モラル教育の実施を両軸として、今後新たに増えることが予想されるネットいじめ防止のための取組を進めた。

## 3 研究の実際

### (1) 生徒指導研修会の開催

ア テーマ「いじめ見逃しゼロの徹底 ～ネットいじめ対策を考える～」

会場 ビーチホールまがたま 平成27年11月25日(水)

イ 講師 新潟県立生涯学習推進センター 学習情報課 指導主事 若月隆雄 様

講義・演習 「児童生徒を取り巻くネット環境の現状と課題」

～ネットいじめ対策について～

### ウ 概要

生徒指導部員17名の参加により行われた。児童生徒を取り巻くネット環境の現状と課題について、最新の情報をもとにわかりやすく説明を受けた。さらに、グループ演習では、ネットの間違った使い方がいじめを誘発したり、いじめをさらに助長したりするなど、ネット社会での児童生徒の陥りやすい危険性についても具体的に把握することができた。さらに児童生徒への具体的な指示の仕方や対応を考える演習であり実際の学校現場で活用できる研修であった。そのため参加した部員から「大変参考になった。指導に生かしたい」という声が多く聞かれた。まとめとしてネット活用は、既に生活の中に不可欠なので、その功罪をしっかりと見極め、情報モラル教育(ネット利用のルールづくりなど)を家庭・地域、学校が連携して取り組むことが大切であることを確認できた。

### (2) 中学校区の取組

市内4中学校区では、小中連携したと取組が毎年、児童主体で計画的に実施されている。ネット環境での危険性を学ぶ情報モラル教育の取組みを進めている中学校区もある。今後もこのような活動を広げ市内全中学校区で取組が進むよう、生徒指導部員を中心に4中学校区同士の連携も図っている。

## 4 成果と課題

いじめの未然防止のための取組が各校で行われ「いじめ見逃しゼロ」をめざし成果を上げている。現状のネット社会の中で、さらにいじめが見えにくく進行してしまう危険性を自覚し、生徒指導部員が行動連携を深めより効果的な取組ができるように、研修内容をさらに充実させていきたい。

